

令和6年度 大田区立山王小学校 自己評価 報告書

令和7年3月7日

○ 本校の概要

教育目標 ○心豊かで 思いやりのある子 ○よく考え 進んで学ぶ子 ○丈夫な体で やりぬく子

教科「おおたの未来づくり」の研究実践校

1 児童の心に寄り添う教育の推進

- ・分かる授業による学習内容
- ・体育・健康教育の推進

・運動への親しみをもち、進んで運動し、自身の体力向上や健康の保持増進に努める児童を育てる学校。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄							
							評価	人数	コメント						
生予個 き測別 力難目 標をな 育未 成来社 会を創 造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	児童意識調査で、「タブレットを使って学習をすることができる」と回答した児童の割合 92.4%	4: 80%以上 3: 70%以上80%未満 2: 60%以上70%未満 1: 60%未満	4	今年度は、来年度から新設される大田区独自教科「おおたの未来づくり」の先行実践に取り組み、研究発表を行った。5,6年生では「ものづくり」と「地域の創生」の実践、1～4年生ではその素地づくりに、生活科や総合的な学習の時間を中心に各教科等横断的に取り組んできた。協働して試行錯誤を重ねながら、課題解決していく過程を通して、特に高学年の児童は、タブレット端末の活用能力を高めた。課題を解決するために調べたり、アンケートを取ったり、友達と情報を共有して話し合いを進めたりするなど、活動にあった効果的な活用をすることができた。 今後は、情報モラルについても計画的に指導していきたい。	A	6	・「おおたの未来づくり」の研究発表への取組は素晴らしいかった。通常のカリキュラムや教科についてとられがちだが、課題に対して考えることがすべての教科につながっていく学びの原点になると気づかされました。				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									3	B	1	・「おおたの未来づくり」におけるアンケートの回収率がよくなく、アンケート結果を踏まえた提案、発表にまで至っていないと聞いている。
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			3	C	1	・研究発表会では、小学生とは思えない高度なコンテンツやアンケートツールを使って学習していることに感銘を受けました。ただ、タブレット端末を駆使できるようになって、授業中も先生の目を盗んでタブレット端末で遊んでしまう子もいると聞きます。家で動画やゲームをずっとやってしまうので、使い過ぎないことも同時に指導していただけたらと思う。			
③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	D	0	・「おおたの未来づくり」は、良い取り組みが実践できていたと思います。 ・大項目と、目標に対する成果指標が一致していないように思います。							
お世個 お界た と目 を標 担な2 うが る人 材を 国際 教育 都市 します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	児童意識調査で「あいさつをしている」と回答した児童の割合 89.5%	4: 80%以上 3: 70%以上80%未満 2: 60%以上70%未満 1: 60%未満	4	中休みに行っている英語カフェでは、関心のあることもたちが集まり、学習したことを活用しながら楽しくコミュニケーションをとることができた。 また、体育朝会でも「Hello. I'm 名前.」と互いに挨拶し、じゃんけんは、「Rock, paper, scissor, 1,2,3!」で行うなど、英語を取り入れた活動を行った。 今後は、授業の際に作成したクイズを他の学年に出したり、高学年が下学年に教えたりする異学年での交流が行える英語カフェも考えていきたい。	A	5	・取組内容③の取組評価が1となっているが、大人ですら重い課題である「地球規模の課題を自分事として捉え」「課題解決に向けて考え」「行動する」力を育むのは、大人の手本も少ない中、本当に難しいことと思う。一朝一夕にはできないが、こどもたちの試行錯誤がうかがえ、取組は着実に実を結んでいると思う。 ・特に「たてわり班活動」は先生方も協力的で児童・教師が一体となって場を盛り上げようとしていると聞いている。 ・生命尊重という点においては、金魚の世話がなされていらないと聞いており、実践には至っていないと感じています。 ・英語カフェを知りませんでした。が、こどもたちが活用しているのは素晴らしいと思います。ますます英語が必要とされる社会になってきているので、素晴らしい取り組みだと思います。				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									3	B	2	・生命尊重という点においては、金魚の世話がなされていらないと聞いており、実践には至っていないと感じています。 ・英語カフェを知りませんでした。が、こどもたちが活用しているのは素晴らしいと思います。ますます英語が必要とされる社会になってきているので、素晴らしい取り組みだと思います。
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1	C	1	・大項目と目標に対する成果指標が一致していないように思います。自己評価を「4」にするために、違う評価指標をこの項目にもってきているのではないかと感じてしまいます。			
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1	D	0								
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とが 個 る性 力と能 力成を をし発 揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	保護者評価アンケートの「こどもは、生命の尊さを知り、命あるものや人権を大切にしている。」の項目で、「あてはまる」と回答した割合 92.0%	4: 80%以上 3: 70%以上80%未満 2: 60%以上70%未満 1: 60%未満	4	道徳教育推進リーダーを中心に、道徳の授業について教員間で学びあい、授業力を高めてきた。 本校の実態である学力の大きな差を十分に補い、補完的な学習が必要な児童には個別に対応、支援をしている。 今後は、発展的な学習に取り組める児童への取組についても充実させるとともに、児童の実態に即した教材・教具の準備、授業展開を考え、その様子を引き続き発信していきたい。 本校は児童数800人の大規模校のため、毎日全学年が校庭で遊べるわけではないが、体育館や屋上を開放することで、場の確保に取り組んでいる。 また、体育朝会で様々な運動ほ紹介したり、各学年、月1回「運動タイム」を掃除の時間に設定し、体を動かす時間を増やしたりしている。	A	8	・引き続き推進をお願いいたします。 ・学力の大きな差があることは知らなかったです。全員に合わせるのが大変な中、個別に対応しているのは素晴らしいです。 ・道徳でこどもたちが意見を出し合って話し合いができていてとてもよいと思いました。グループが多数あって先生が一人だと大変なので、チームを作ってディベートするのも有効なのではないかと思いました。				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									3	B	0	・学力の大きな差への取り組みとして、補完的な学習や発展的な学習にしっかり取り組むことは、とても重要だと思います。
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			3	C	0				
③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	D	0								
	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											

学 校 別 力 目 ・ 標 教 4 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者評価アンケートの「学校は授業を工夫し、個に応じた指導を行っている。」の項目で、「あてはまる」と回答した割合	4:80%以上	4	校内では、主任教諭の専門性を活かしてOJTを毎月行ったり、各学年で教材について話し合ったりすることで、教師の指導力向上に努めている。また、大田区教育研究会への参加や指導教諭の模範授業への参観を促し、教員の学ぶ機会の確保に努めている。	A	8	・高学年の教科担任制では、先生方の得意分野をいかした授業をしていただいていると聞いています。 ・高学年の教科担任制は、教科によって先生がかわるので、担任の先生がずっと教えるよりいいとこどもは言っています。 ・先生の仕事の負担が少しでも減るように、引き続き検討いただけると幸いです。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3:70%以上80%未満			B	0	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	2		2:60%以上70%未満			C	0	
						1:60%未満			D	0	
た 自 分 の 目 標 5 を い き 支 え し ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者評価アンケートの「こどもは、学校生活をたのしく過ごしている。」の項目で、「あてはまる」と回答した割合	4:80%以上	4	個のよさを認ること、特別な支援を要する児童への理解と個別の支援、保護者との面談、SCやSR等との連携をしっかりと行っている。 また、児童の様子をよく観察し、いじめの未然防止に取り組んだり、指導を要する案件には早期に組織的に対応したりしている。 今後も担任だけでなく、学年・学校・関係諸機関で連携を図りながら対応していく。	A	8	・難しい問題かと思いますが、ご対応をお願いします。 ・家庭内だけで解決しようとする煮詰まってしまうので、様々な方が支援してくださるのは本当にありがたいです。 ・こどもへのアンケート「学校は楽しい」で、ネガティブな回答が8%以上あり、少し気になりました。過去との比較や回答の理由等、検討いただけると幸いです。 ・キーワードは、「多様性」です。丁寧に指導していると思います。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3:70%以上80%未満			B	0	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		2:60%以上70%未満			C	0	
						1:60%未満			D	0	
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 境 な を 学 習 く 空 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者評価アンケートの「学校は、こどもの安全管理に気を配っている。」の項目で「あてはまる」と回答した割合	4:80%以上	4	児童の学習環境を守るため、教員が月1回、教室や廊下、階段、校庭、遊具等の安全点検を行っている。そこで挙げられた内容は、管理職、事務、用務員で相談し、校内で整備なのか業者に依頼するのか等判断し即時対応している。 また、月1回の避難訓練、安全指導を通して、児童の意識を高めている。特に安全指導では、「山王のこども」に記載されている項目ごとに学級で確認をしたり、必要に応じて全校朝会で生活指導主任が話をしたりしている。	A	7	・安全な環境がすべての基盤になると考えますので、引き続き取り組みをお願いします。 ・月1回の安全点検と避難訓練があることを初めて認識しました。ありがとうございます。 ・安心、安全な場として、引き続きよろしく願いいたします。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:70%以上80%未満			B	1	
						2:60%以上70%未満			C	0	
						1:60%未満			D	0	
学 地 学 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ク ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し て 協 働 の 働 き よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者評価アンケートの「学校は、学校行事に地域の協力を得ている。」の項目で、「あてはまる」と回答した割合	4:	4	来年度は開校100周年を迎えるため、現在、PTAや地域、実行委員会と連携を図りながら、様々な企画を考えている。父母、祖父母も山王小の卒業生というご家庭も多く、地域の方に愛され続けいる、地域の方の熱い思いのある学校である。 現在の在校生や保護者だけでなく、これまで山王小に関わった多くの方たちとお祝いをする節目の年とし、R8年度からのコミュニティスクールも視野にいれ、連携・協働していけるように取り組んでいきたい。 また、どの学年でも地域に出て「人・もの・こと」と関わる学習を設定しているので、こどもたちの愛校心や地域愛も育んでいきたい。	A	8	・いつもPTA企画のイベントにご協力いただきありがとうございます。 ・微力ながらお手伝いできれば嬉しいです。 ・コミュニティスクールは増えています。うまく活用すると、学校が生き生きとします。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3:			B	0	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		2:			C	0	
						1:			D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す